

上総とんび

一宮町指定無形文化財
千葉県指定伝統工芸品

展示会

4月29日回～5月5日回

寿屋本家 すやほんけ 座敷 10時～17時

特別展示決定

4月29日のみ

江戸指物師 大淵光高

江戸指物協同組合準会員、台東区伝統工芸振興会会員

作品展

流れるような木目の表情を主役に据え、
余計な装飾を排し、華奢に見えながら
堅牢に仕上げた江戸指物。
茶道具などの指物に、江戸の
美意識をご覧ください。



懐かしの袖凧

とんび原型の万祝着も展示します

※文化財著作権のため写真の転載・コピーを禁止します。

上総とんびは、一宮町の嵯峨野家に江戸寛政期より一子相伝で代々伝わる凧です。

その形は漁師が大漁の祝いに着る万祝着の形を模し、「とんび」の名称は、地曳網漁の獲物を狙って急降下する鳶の姿と似ていることから付けられました。また、数ある下絵のなかでも勇壮な武者絵は青森の「ねぶた」にも影響を与えました。

縁起物である上総とんびは、男児の誕生や初節句の祝いに、注文を受けてから、相手の幸せを願って心をこめて作られます。このたびの展示では、当代十代目の作品を中心に、古代凧や万祝着などとともに、九十九里浜の風土が生んだ上総とんびの背景と歴史も紹介いたします。

会場の都合により 29日のみ九代目作大凧 西六枚「出世鯉生け捕り」を展示します。

主催 NPO法人 さすが一の宮

後援 一宮町教育委員会／一宮町文化同好連絡協議会

問合せ 電話 0475-36-3989 寿屋本家 open11:00-17:00 一宮町 2987 商工会並び P10台